

奈良県フットサル連盟事業

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

大原則：フットサル活動に関わる全ての方の健康及び安全を最優先とし配慮する。

感染拡大のリスクを最小限にする。

無理に参加しない・させない、強制させない。参加者の同意がある事。

無理な来場は勇気をもって見合わせる。

第3者から見ても症状が怪しいと思われる場合は、参加を見合わせる。

●大会開催判断

使用施設の制限(大会開催可否・収容人数・県外の方の使用可否等)

府県を跨ぐ移動制限の有無

●新型コロナウイルス感染防止対策として

①奈良県 FA 「競技会・イベント運営ガイドライン 9/1 改訂版」に則して対応。

(県協会HP：<http://www.narafa.or.jp/> 参照)

「NFF 健康チェックシート」を試合当日の2週間前から記録作成の上、持参。

最低1ヶ月保存。

②チーム内に新型コロナウイルス感染者(選手・役員)がいる際は、感染14日以降でない場合は、当日試合をする事ができない。(後日代替え試合調整とし、当日は接触していない者で運営)

③無観戦試合とし、事前提出名簿記載の者(チーム・選手・役員・許可を得た大会関係者)以外は、施設への来場を禁止。(各チーム、HP、会場出入り口に到達、一般観戦席無し)

送迎のみであれば、出入り口付近を避ける事。

④各チームから1名を「チーム内感染対策責任者」とし、チーム内の感染症対策を指導・管理

⑤原則マスクを着用し、大きな声で会話しない。

※飛沫防止できるもの

※競技・ウォーミングアップ中の関係者を除く

※熱中症が懸念される状況下では、距離を保ったうえでマスクを外す事を認める

●来場に関して

①NFF 健康チェックシート(2週間分の検温)の作成・持参

※当日会場入り口受付で確認する。チェック後返却

※会場内での作成は認めない

②マスクの着用

※「NFF 健康チェックシート」の持参およびマスク着用が無い方は会場入りを認めない。

※予備マスク配布あり

③手指消毒

④会場入場時に検温を行ない、検温結果にて会場入場を判断する ※非接触体温計

検温結果が37.5℃以上の人：会場への入場を禁止し、速やかに帰宅して頂く。

検温結果は、事前に集約されている「来場者一覧表」に記載する。

再入場時に検温は任意とする

※フィジカルディスタンス(ソーシャルディスタンス)を意識して順番でお願いします。

●会場アクセスについて

①自家用車でアクセスする際は3密にならないよう配慮する。

②駐車場でも離れて駐車することが、推奨される。

※可能な限り練習ウェアやジャージー

(更衣室使用禁止、また状況に対する協力等を考えて、極力着替えやすい格好かつ相応しい服装)

●待機場所(観客席)

チームスペースを広めに確保：周囲の人と距離を取る為、左右前後1席分ずつ空ける。

荷物置場など、チーム内・他チームとの距離(各自1.5m程度の間隔を保てるよう)も十分にとる。

※動線は空ける配慮をお願いします。

無観戦(無観客)とするので一般観戦スペースはつくらない。

食事の際は向かい合わせにならないようになるべく一人で取る。黙食。

●設営に関して

開始前と後は手洗い・消毒をお願いします。

ピッチ担当は、マイはさみを持参してください。

5ファウル表示は積み木を使わずタイマー機能表示で対応。

試合前にゴールポスト・用具を消毒。ボールは消毒NG。

※消毒剤は使用についての留意・表皮はがれ/ひびわれ等

SC用具の使用後の小まめな消毒

オフィシャル・記録席：社会的距離として2m程は確保

入退場出入口を区別出来る場合は設定する。

●更衣室

原則使用禁止。待機場所での更衣を認めるが、周りの方に対する配慮を徹底する事。

シャワーも利用禁止。

●ベンチ

1席分を空けて座る。座る個所を固定の為、18席必要。

※役員=1列目、席の移動厳禁

ベンチ2列または3列配置。



HTのベンチの入替は行わない。

ベンチ入り役員はマスクを着用

交代要員は呼吸が整い次第マスク着用(熱中症リスクを配慮)

タオル・ビブス等は他人が触れないように気をつける/放置禁止

●MCM

出席者は最大4名程度とする(MC兼司会・主審・チーム・チーム)

3密を避け手短かに終える。

ユニフォーム確認表の使用

コイントスを行ないベンチ位置を決定する。

●試合前

メンバーチェック：チームベンチ付近にて選手間の距離(2m程)を保ちながら行う。

円陣はしない

集合写真の撮影は距離を取るのであれば認める

試合前後の整列・シェイクハンドセレモニーを行わない

※ピッチ中央で一礼のみ程度であれば認める。

→ 5分前チェックでも十分

●ハーフタイム(HT)

エンド交代はしない

次試合チームのピッチアップは認める

●審判

笛の代わりに、電子ホイッスルを使用しても良い。

第3審判員・TKは試合中もマスクを着用。

追加入場時にビブスを受け取らない

マスク・笛・タオルをみだりに放置しない

可能ならストップウォッチ等持参。スマホ/携帯の機能は不可

●運営

フェイスシールドは使用不可(怪我のリスク)

マイ文房具を持参してください。

MBは手袋着用

使い捨て手袋準備あり。

●試合に関して

靴裏を手で拭かない。

ピッチ内でも咳エチケットを守り、手で鼻をかまない。

GKがケガ交代の緊急時は運営黒ビブス貸出とする。

タイムアウトは用紙を用いずTKに対し口頭+ジェスチャーで要求する

※ジェスチャー例：①ふつうにT②小さくTT③大きくTT

GKがタオルを持ち込みする際はネットに引っかけない・床に直置きしない。

※入れ物やシートを持参

床拭きはモップのみとする。GKタオルNG。

倒れた選手に手を貸さない。

担架使用後は担架要員消毒。

遅刻者の対応は主審判断。

●ビブス

「交代は、交代要員が完全に自分のチームの交代ゾーンからピッチに入ることにより完了する。」

※交代要員のビブス着用義務を免除したものではない。

※戦術的交代の意図が感じられた場合は警告対象

※ピブスを共有しない：マイピブスの徹底。各個人で管理し、使いまわさないようにする。
運営時も同様。(運営黒ピブス使用禁止・使い回し不可)

→ 1 チーム最大 14 枚必要。通常 10 枚入りなので 2 色になる。足りない場合は色の混同可。
運営時はチームウェアでも可能

●水分補給

マイボトルの持参。ボトルには名前記入が望ましい。
クーラーボックスでボトル等を共有しない。マイクーラーボックス。
飲水・熱中症対策スペースは同時に 5 人以上とにならないように配慮
飲み残しは持ち帰る (氷含む)

●試合終了後

両チームと審判団がピッチ中央に集まることは行わない。
※ピッチ中央で一礼のみ程度であれば認める。
ベンチ・ポスト・備品の消毒。ボールは消毒 NG。
※やむを得ず共用する用具については、手が頻回に触れる箇所を工夫して最低限にした上で、こまめに消毒。
試合ごとのモップ掛け
出入り口/窓を開け扇風機も使い換気する。
用事のない方は直ぐ帰る。(運営の場合は最低活動人数に)
ゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用。
ゴミはビニール袋に入れて各自で必ず持ち帰る (大会役員も含む)。

●報告義務

試合(事業)後 2 日ならびに 2 週間以内に、体調不良や感染が発覚した場合は速やかに報告する。
報告先：チーム感染対策責任者 → ①対戦チーム②感染対策責任者

●その他

「〇番の選手が咳込んでいる」等の確認があれば試合を中断。
悪意のある発言・行動に関しては懲戒罰を含め厳しく対応する。
熱中症にも配慮
チームでも消毒液等は準備する。
用具の共用を可能な限り減らす。
喫煙場所での会話は控える。禁煙推奨
日常生活から意識して行動する。

※上記内容は適宜加筆修正の場合があります。

上記の対策を行っても感染を完全に防止することは難しいと思います。
いちいち面倒、自分は大丈夫等、ご不便は重々承知しておりますが、
フットサルという後進スポーツ発展の中で、予防対策に真摯に向き合う一人一人の協力というものが大変重要になります。
どうぞご理解・協力をお願い申し上げます。